

●経理上手くんα Pro II 【宗教法人】・経理上手くんαクラウド Pro II 【宗教法人】 Version:8.601

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP・Vista・7 搭載機へのインストールは不可となっています。

◆ SQL Server 2019 への対応

- 2022年7月12日のSQL Server 2012 サポート終了に伴い、データベースを「SQL Server 2019」に移行する必要があります。そのため、宗教法人dbにおいても通信・移動の業務の対応を行いました。
※当プログラムをインストールしても、6月提供予定の「SQL Server 2019 バージョンアップツール」にてバージョンアップを行うまでは、通信・移動においても変更等はありません。
- SQL Server 2012 から SQL Server 2019 及び同一 SQL バージョン間での移動については、すべてのプログラムで移動できるように対応しています。
 - ・マスター&データ送信・移動
 - ・財務マスターコピー
- SQL Server 2019 から SQL Server 2012 への移動については、通信処理「マスター&データ送信・移動」業務のみ可能としています。(IZM形式)

◆ その他の改良、修正を行いました。

※詳細は、次ページからの“**宗教法人db (VERSION:8.601) の変更点**”を参照してください。

❗注意

- 他のICSシステムとマスターのやり取りを行われる場合は、他のICSシステム側も当改正対応プログラムのインストールを行い、バージョンを統一してください。

宗教法人 d b (VERSION:8.601) の変更点

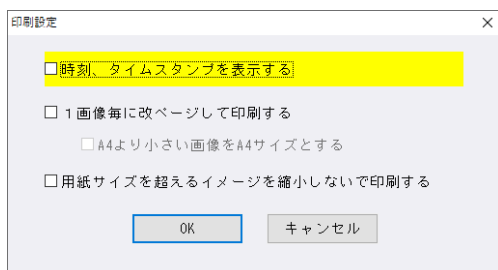
改良

I. 他出力

1) 原票ビューア (電帳法対応オプションのみ)

① F5 印刷 / 印刷設定

印刷設定の文言を変更しました。



印刷設定

時刻、タイムスタンプを表示する

1画像毎に改ページして印刷する

A4より小さい画像をA4サイズとする

用紙サイズを超えるイメージを縮小しないで印刷する

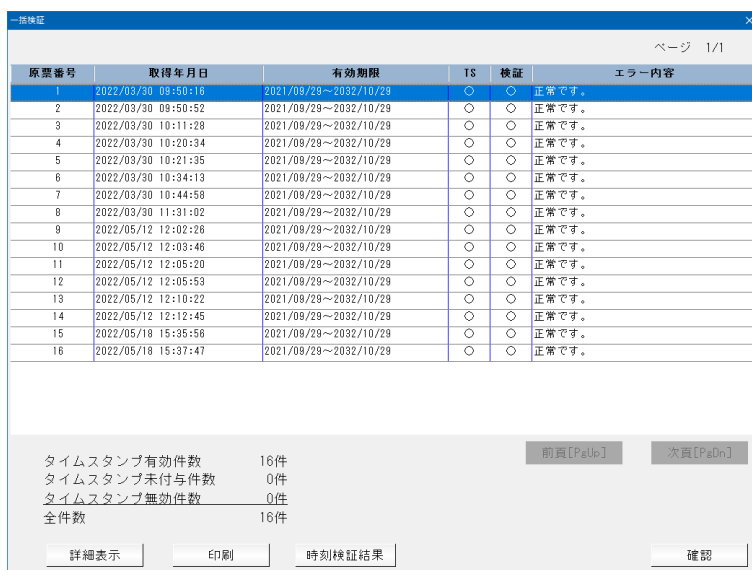
OK キャンセル

② 検証

検証画面の表示を下記のように変更しました。

1. 会計事務所様側の会社登録にて「タイムスタンプの付与を保存要件とする」のチェックを ON にしている場合。

タイムスタンプと時刻検証の確認ができるように、下記の画面を表示します。



原票番号	取得年月日	有効期限	TS	検証	エラー内容
1	2022/03/30 09:50:16	2021/09/29~2032/10/29	○	○	正常です。
2	2022/03/30 09:50:52	2021/09/29~2032/10/29	○	○	正常です。
3	2022/03/30 10:11:28	2021/09/29~2032/10/29	○	○	正常です。
4	2022/03/30 10:20:34	2021/09/29~2032/10/29	○	○	正常です。
5	2022/03/30 10:21:35	2021/09/29~2032/10/29	○	○	正常です。
6	2022/03/30 10:34:13	2021/09/29~2032/10/29	○	○	正常です。
7	2022/03/30 10:44:58	2021/09/29~2032/10/29	○	○	正常です。
8	2022/03/30 11:31:02	2021/09/29~2032/10/29	○	○	正常です。
9	2022/05/12 12:02:26	2021/09/29~2032/10/29	○	○	正常です。
10	2022/05/12 12:03:46	2021/09/29~2032/10/29	○	○	正常です。
11	2022/05/12 12:05:20	2021/09/29~2032/10/29	○	○	正常です。
12	2022/05/12 12:05:53	2021/09/29~2032/10/29	○	○	正常です。
13	2022/05/12 12:10:22	2021/09/29~2032/10/29	○	○	正常です。
14	2022/05/12 12:12:45	2021/09/29~2032/10/29	○	○	正常です。
15	2022/05/18 15:35:56	2021/09/29~2032/10/29	○	○	正常です。
16	2022/05/18 15:37:47	2021/09/29~2032/10/29	○	○	正常です。

タイムスタンプ有効件数 16件
タイムスタンプ未付与件数 0件
タイムスタンプ無効件数 0件
全件数 16件

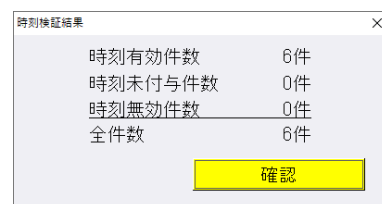
前頁[PaUp] 次頁[PaDn]

詳細表示 印刷 時刻検証結果 確認

○件数表示について

タイムスタンプ有効件数 ○件
タイムスタンプ未付与件数 ○件
タイムスタンプ無効件数 ○件
全件数

「時刻検証結果」を押すと、下記の画面を表示します。



時刻検証結果

時刻有効件数 6件
時刻未付与件数 0件
時刻無効件数 0件
全件数 6件

確認

取得年月日 : タイムスタンプの取得年月日を表示。

有効期限 : タイムスタンプの有効期限を表示。

TS : ○

検証 : タイムスタンプの検証結果を表示。

2.会計事務所様側の会社登録にて「タイムスタンプの付与を保存要件とする」のチェックを OFF にしている場合。

原票番号	取得年月日	有効期限	TS	検証	エラー内容
1	2022/03/30 09:50:16	2021/09/29~2032/10/29	○	○	正常です。
2	2022/03/30 09:50:52	2021/09/29~2032/10/29	○	○	正常です。
3	2022/03/30 10:11:28	2021/09/29~2032/10/29	○	○	正常です。
4	2022/03/30 10:20:34	2021/09/29~2032/10/29	○	○	正常です。
5	2022/03/30 10:21:35	2021/09/29~2032/10/29	○	○	正常です。
6	2022/03/30 10:34:13	2021/09/29~2032/10/29	○	○	正常です。
7	2022/03/30 10:44:58	2021/09/29~2032/10/29	○	○	正常です。
8	2022/03/30 11:31:02	2021/09/29~2032/10/29	○	○	正常です。
9	2022/05/12 12:02:26	2021/09/29~2032/10/29	○	○	正常です。
10	2022/05/12 12:03:46	2021/09/29~2032/10/29	○	○	正常です。
11	2022/05/12 12:05:20	2021/09/29~2032/10/29	○	○	正常です。
12	2022/05/12 12:05:53	2021/09/29~2032/10/29	○	○	正常です。
13	2022/05/12 12:10:22	2021/09/29~2032/10/29	○	○	正常です。
14	2022/05/12 12:12:45	2021/09/29~2032/10/29	○	○	正常です。
15	2022/05/18 15:35:56	2021/09/29~2032/10/29	○	○	正常です。
16	2022/05/18 15:37:47	2021/09/29~2032/10/29	○	○	正常です。
17	2022/05/20 14:08:26	2021/09/29~2032/10/29	○	○	正常です。
18	2022/05/20 14:13:02	2021/09/29~2032/10/29	○	○	正常です。

時刻有効件数 2件
時刻未付与件数 16件
時刻無効件数 0件
全件数 18件

○件数表示について
時刻有効件数 ○件
時刻未付与件数 ○件
時刻無効件数 ○件
全件数 ○件

※当プログラムをインストール前に保存した原票には時間が付与されていません。
時刻未付与件数に集計されます。

2) パスワードで保護されているファイルについて

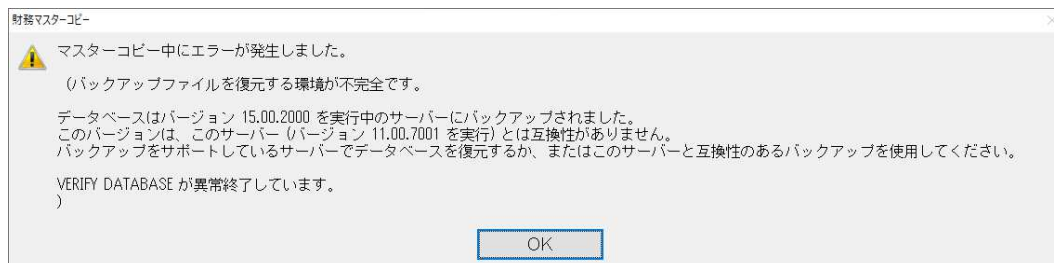
・パスワードで保護されているファイルは、画像の表示ができなため、下記画像で表示するようにしました。



II. 通信・移動

1) 財務マスターコピー

①SQL Server 2012 から SQL Server 2019 及び同一 SQL バージョン間でのコピーが可能です。
SQL Server 2019 の環境でコピーしたマスターを、SQL Server 2012 の環境へ復元しようとする
下記のメッセージを表示します。このメッセージが表示された場合、復元するためには SQL Server
2012 から SQL Server 2019 に移行が必要になります。



2) 会計事務所へマスター&データ送信・移動

3) マスター&データ抽出

①SQL Server 2019 に対応しました。

SQL Server 2019 の対応について

SQL Server 2012 から SQL Server 2019 及び同一 SQL バージョン間での移動については、すべてのプログラムで移動ができるように対応しています。

- ・マスター&データ送信・移動
- ・財務マスターコピー

SQL Server 2019⇒SQL Server 2012 への移動については、通信処理「マスター&データ送信・移動」業務のみ可能としています。（IZM 形式）

	SQLServer2012 ↓ SQLServer2019	SQLServer2019 ↓ SQLServer2012	SQLServer2012 ↓ SQLServer2012	SQLServer2019 ↓ SQLServer2019
マスターコピー	○	×	○	○
マスター送信・データ抽出	○	○	○	○

修正

I. 登録・入力

1) 仕訳入力

- ①一括修正で未確定科目から課税科目に一括修正を行ったときに、修正後の税額が0、消費税が「内10」又は、「特仕」等の表示になる場合があったのを修正しました。

II. 決算

1) 勘定科目内訳書

- ①特定の条件下で【小計】に金額が集計されない場合がある不具合を修正しました。

●現象が起こる条件は以下の通りです（すべて満たす場合に起きます）。

- ・編集～ソート 「小計」を自動挿入するチェック ON
- ・編集～ソート 一行でも小計を挿入するチェック OFF
- ・印刷設定 金額 0 円(空欄)データを出力しないチェック ON
- ・1 頁目の 1 行目に金額あり
- ・1 頁目の 2 行目以降、すべて金額 0 円(空欄)
- ・2 頁目に【小計】がある
- ・2 頁目【小計】までの第 1 ソート項目がすべて同じ

※手順として、ソート処理⇒印刷設定で「金額 0 円(空欄)データを出力しない」チェック ON⇒印刷とすると、印刷のみおかしくなり、画面は正しい状態になっていますが、編集を行うと画面もおかしくなります。

《例》

【1 頁目】

科目	相手先		期末現在高
	名称(氏名)	所在地(住所)	
売掛金			1,000,000
売掛金			0
売掛金			0
売掛金			0
売掛金			0
売掛金			0
売掛金			0
売掛金			0
売掛金			0

- ・1 頁目の 1 行目に金額あり
- ・1 頁目の 2 行目以降、すべて金額 0 円（空欄）

【2頁目】

科目	相手先		期末現在高
	名称(氏名)	所在地(住所)	
売掛金			0
売掛金			0
売掛金			0
売掛金			0
売掛金			0
売掛金			0
売掛金			200,000
【小計】			200,000

・2頁目の【小計】までの第1ソート項目が全て同じ

・2頁目に【小計】がある。

●ソート

- ・「小計」を自動挿入する ON
- ・一行でも小計を挿入する OFF

●印刷設定

- ・金額0円(空欄)データを出力しない ON

上記設定で出力すると、2頁目の【小計】が1,200,000のところ200,000になっていました。

※1~2頁での現象です。（仮に3~4頁に他科目で同様のデータがあっても現象は起きません。）

※ソート処理で小計設定が行える様式であれば同様のデータ・ソート・印刷設定で現象が起きていました。

※現象が起きているマスターについては、起動時に一度だけ修復を行うよう対応しています。

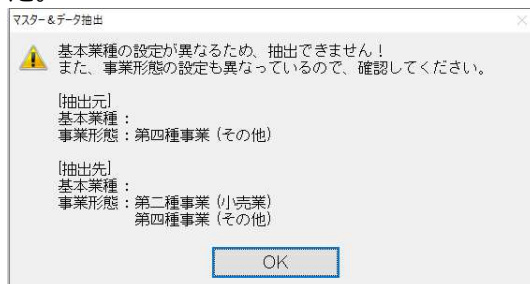
修復処理は修正プロ起動時一度だけですが、いずれか1データの金額を編集する（一旦0円にして再入力）などでも再集計されるようになっていました。

Ⅲ. 通信・移動

1) マスター&データ抽出

①顧問先マスター（枝番あり）で、原則課税から簡易課税、簡易課税から原則課税に切替えたマスターをマスター送信して抽出すると、転送先が簡易課税で枝番なしの場合に、転送元の業種が空白で表示され、転送先が枝番ありの場合は転送元の基本業種が空白で表示されていたのを修正しました。

転送先・転送元のいずれかが免税の場合でも簡易課税の事業形態不一致が表示される場合もありました。



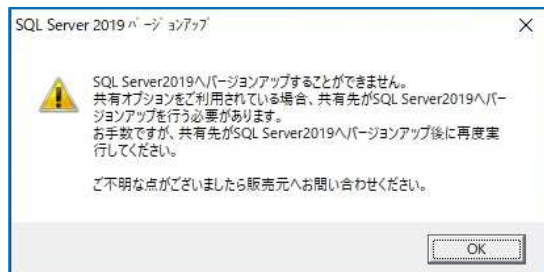
クラウド共有オプションを使用している場合の注意点

- クラウド共有オプションを使用している場合、会計事務所、上手くんαシリーズの双方で SQL Server 2019 に上げて頂く必要があります。

«SQL Server 2019 へバージョンアップに関して»

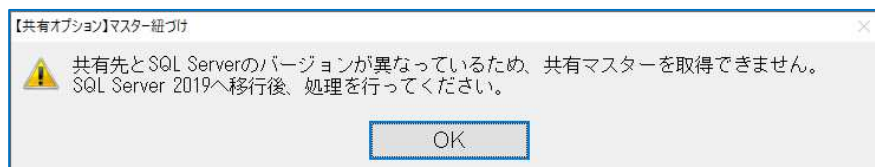
共有先（会計事務所様）が先に 2019 へバージョンアップを行わないと実行できません。

先に会計事務所様側にて 2019 へバージョンアップを行い、バージョンアップを行ってください。



«【共有オプション】マスター紐付け（クラウド共有設定）»

共有マスター取得時、共有先が 2019 へバージョンアップを行った場合、共有元も 2019 にバージョンアップしないと、共有マスターは取得できません。



上手くんαクラウド

1) 表形式

- ①上手くんαクラウド環境で「表形式」業務を使用できるようにしました。

※クラウド環境では『ファイル名を会社ごとに保存する』のチェックが有効であっても、会計事務所（ATOM II クラウド）と顧問先（上手くんαクラウド）で、別々に保存する対応を行っています。

以上